

こ 医 セ 第 436 号
平成 31 年 2 月 27 日

島根県薬剤師会出雲支部長 様

島根県立こころの医療センター
病院長 小林 孝文

調剤薬局薬剤師と当院医師との間で、患者情報を提供するために行う
「施設間情報提供書(トレーシングレポート)」を用いた運用の実施について(通知)

当院の医療業務の推進につきましては、日頃から格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、最近では、患者さんの服薬アドヒアランスの低下やポリファーマシーなどの影響により、患者さんの治療や QOL に支障がでていることが問題視されています。

このような状況を改善するために、調剤薬局で得られた患者さんの服薬に関する状況を別紙、「施設間情報提供書(トレーシングレポート)」に記載していただき、当院担当医師あてに F A X にて報告してもらうことで、今後の治療の参考にさせていただき、服薬アドヒアランスの改善、ポリファーマシーに関する対策及び患者さんの QOL の向上などに役立てたいと考えていますので、当該運用の主旨についてご理解いただき、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、「施設間情報連絡書」をエクセルファイルで入力したい薬局様がいらっしゃいましたら、下記連絡先にいずれかの方法でご連絡願います。

この文書に関する連絡先 薬剤科

電話 0853-30-0556(代表)

FAX 0853-30-2000

E-mail koryo-ph@abeam.ocn.ne.jp

トレーシングレポート(施設間情報連絡書)

処方医 科 先生侍史 報告日 年 月 日

患者氏名 (ID:) 処方箋 No. ()	保険薬局 名称: 住所: TEL: FAX: 担当薬剤師:
患者の同意 得た 得ていない	印
患者は処方医への報告を拒否していますが、治療上重要と考えられるため報告いたします。	

処方箋に基づき調剤し、薬剤を交付しました。

下記のとおり、報告すべき点がありますので、確認いただきますようお願いいたします。

分類	継続の必要性が乏しい薬剤についての情報提供(ポリファーマシー) 残薬調整に関する情報提供 服薬状況 処方内容に関連した提案 その他 ()
薬剤師からの情報提供・提案内容(残薬調整の場合は下欄の「理由」と「対応」を記入すること。) 次頁に処方箋をFAXいたします。	
残薬が生じた理由(複数選択可) 飲み忘れが積み重なった。 新たに別の医薬品が処方された 飲む量や回数を間違っていた 同じ医薬品が処方されていた。 自分で判断し飲むのをやめた。(理由) 処方日数が服用日数より多かった。 その他 ()	
残薬を回避するための対応(必ず選択してください)。 適切な服薬に向けて意義や重要性について指導しました。 その他 ()	
医師への提案 (変更 or 中止)を提案します。(理由、提案内容:) その他 ()	

<注意> このFAXによる情報伝達は、疑義照会ではありません。

緊急性のある問い合わせや疑義照会は、処方医に直接電話でご確認ください。